

一級建築士住所等の届出〔A〕記入例〔新規申請者用〕

★都道府県コードを確認し、記入してください。

第一号内式(第八号内式)(欄外)	②	一級建築士住所等の届出	届出日	令和5年2月5日
※以下のコードも記入して下さい。(右欄)	本籍都道府県コード	1:5	住所都道府県コード	1:4
業務の種別	0:1	勤務先都道府県コード	1:3	

氏名	けんちく しろう	生年月日	大正8年7月25日	性別	①男 2女
本籍	新潟 南魚沼 湯沢 三国××番地	住所	神奈川県 横浜 青葉区若草台×-×-× マンション名 朝日マンションA-501号室 電話 045-123-XXXX	登録番号	第 号 登録年月日 平成 年 月 日
業務の種別	①建築設計(2及び3を除く) 2.構造設計 3.設備設計 4.積算 5.工事監理又は工事の指導監督 6.現場管理 7.調査又は鑑定 8.手続代理 9.敷地選定等の企画 10.研究又は教育 11.行政 12.その他				
勤務先名称	株式会社 □□建築設計事務所 (開称者名) 登録太郎				
勤務先所在地	〒.108-XXXX×× 東京 港 芝5丁目××-×× ビル名等 田町ビル5階 電話 03-3456-XXXX				

⑦申請者は記入不要

申請都道府県	神奈川県	合格年月日	平成 051225	合格年	05	合格番号	2G59999K
都道府県コード	①9 1 4	フリガナ	ケン チク	フリガナ	シ ロウ	証明写真貼付欄	
姓	建築	名	士郎	希望者のみ記入			
旧姓・通称名の併記	併記を希望する方は、以下の旧姓あるいは通称名欄にご記入ください。		連絡可能な日中のご連絡先	090-1234-XXXX	連絡可能なメールアドレス	kenchiku-●●@○○○.jp	
フリガナ	ケン チク	フリガナ	シ ロウ	外国人のみ記入 (国名コードを参照)			
旧姓		通称名		欠格事由	1 2 3 4 5	申請者のみ記入	
管理建築士講習修了履歴の一級建築士名簿への記載申出	修了証に記載の建築士資格		登録都道府県	登録番号			
修了年月日	平成 年 月 日	修了証番号					
講習機関							
管理建築士講習受講履歴の一級建築士免許証明書裏面への記載希望の有無	管理建築士講習受講履歴記載希望						

②1 管理建築士講習受講者のうち希望者のみ記入

②2 管理建築士講習受講者のみ記入

- ④ 性別： 「○」で選択してください。
- ⑤ 本籍： 住民票上の本籍を正確に、都道府県から番地まで記入してください。また、左の本籍都道府県コード欄も記入してください。(「都道府県コード」を参照) 外国籍の方は、本欄を空欄として、「⑯外国籍」欄に記入してください。
- ⑥ 住所： 住所を都道府県から番地、マンション名、部屋番号まで正確に記入してください。また、左の住所都道府県コード欄も記入してください。(「都道府県コード」を参照)。海外居住者は、免許証明書を受けとることができる日本の住所(実家等)を記入してください。電話番号は、固定電話(市外局番必須)もしくは携帯電話番号を記入してください。
- ⑦ 登録番号・登録年月日：(申請者は記入不要)
- ⑧ 業務の種別： 該当する業務の種別の番号に○を付けてください。2種以上の業務に従事している場合は、主なもの1つに○を付けてください。左の業務の種別コード欄には2桁の数字(例：1 → 01)を記入してください。なお、申請時点で建築に関する業務に従事していない場合は、記入不要です。(⑨、⑩も同様)
- ⑨ 勤務先： 現在の勤務先の会社名を記入してください。勤務先が建築士事務所の場合は、開設者名(開設者が法人の場合は代表者氏名)も記入してください。
- ⑩ 勤務先所在地： 郵便番号から記入し、所在地は都道府県から番地まで正確に、ビル名等がある場合はビル名まで記入してください。勤務先の電話番号は市外局番から記入してください。また、左の勤務先都道府県コード欄も記入してください。(「都道府県コード」を参照)
- ⑪ 申請都道府県： 申請書類を提出する都道府県名と都道府県コードを記入してください。(「都道府県コード」を参照)
- ⑫ 合格年月日： 合格年月日は、合格通知書に記載されている合格年号に○につけ、2桁の数字(例：1 → 01)で年月日を記入してください。
- ⑬ 合格番号： 合格通知書に記載されている合格年と受験番号を、以下の例を参考に記入してください。「一級建築士免許申請書」に記入している「合格番号」と相違がないようにしてください。(例)令和5年に合格。受験番号は2G-59999Kの場合。⇒052G59999K(受験番号の冒頭に合格年を示す「05」を書き足す)
- ⑭ 証明写真： 「一級建築士免許申請書」に貼り付けたものと同一の写真を貼り付けてください。申請者自身で印刷等を行う場合、コピー用紙等の写真専用紙以外を用いて印刷しているものは無効となりますのでご注意ください。
- ⑮ 姓名： 住民票上の氏名を正確に記入してください。住民票上の氏名の字体が「旧字・外字(以下、旧字等)」の場合であっても、免許証明書の字体を「新字」とすることは可です。また、免許証明書の字体を住民票上と同じ旧字等とすることを希望する場合、その字体がパソコンで表示されなければ、字体を手書きで丁寧に記入して下さい。
- ⑯ 旧姓・通称名(併記を希望する者のみ)： 免許証明書に併記を希望する場合のみ記入してください。通称名として免許証明書に併記できるのは、住民票に記載されている通称名のみです。(ペンネームは不可)
- ⑰ 連絡可能な日中のご連絡先： 日中連絡が可能な電話番号を記入してください。
- ⑱ 連絡可能なメールアドレス： 連絡が可能なメールアドレスを記入してください。
- ⑲ 外国籍： 申請者が外国籍の場合は、国名とそれに対応した国名コードを記入してください。(「国名コード」を参照)
- ⑳ 欠格事由： 該当する欠格事由がある場合は、その番号に○を付けてください。欠格事由に該当しない場合は、○を付けないでください。
- ㉑ 管理建築士講習修了履歴の一級建築士名簿への記載申出： 修了証に記載の建築士資格と修了証番号等、正確に記入してください。 ※二級・木造建築士の資格で受講した管理建築士講習の修了履歴を、一級建築士名簿へ記載を希望する方のみ記入してください。
- ㉒ 管理建築士講習受講履歴記載希望： 二級・木造建築士の資格で受講した管理建築士講習の修了履歴を、一級建築士免許証明書の裏面へ印字による記載を希望する場合、有に○、記載を希望しない場合は無に○を付けてください。

一級建築士住所等の届出〔A〕記入要領〔新規申請者用〕

※記入例を参考に、黒又は青色の万年筆又はボールペンを使用(インクが消せるものは使用不可)し、楷書で丁寧に記入してください。
※すべての事項をパソコンにより入力することも可です。その場合は黒字で入力してください。

- ① 届出日： 申請日(提出日)を記入してください。
- ② 氏名： 住民票上の氏名を正確に記入してください。
- ③ 生年月日： 生年月日を和暦、算用数字で記入してください。

- ④ 性別： 「○」で選択してください。
- ⑤ 本籍： 住民票上の本籍を正確に、都道府県から番地まで記入してください。また、左の本籍都道府県コード欄も記入してください。(「都道府県コード」を参照) 外国籍の方は、本欄を空欄として、「⑯外国籍」欄に記入してください。
- ⑥ 住所： 住所を都道府県から番地、マンション名、部屋番号まで正確に記入してください。また、左の住所都道府県コード欄も記入してください。(「都道府県コード」を参照)。海外居住者は、免許証明書を受けとることができる日本の住所(実家等)を記入してください。電話番号は、固定電話(市外局番必須)もしくは携帯電話番号を記入してください。
- ⑦ 登録番号・登録年月日：(申請者は記入不要)
- ⑧ 業務の種別： 該当する業務の種別の番号に○を付けてください。2種以上の業務に従事している場合は、主なもの1つに○を付けてください。左の業務の種別コード欄には2桁の数字(例：1 → 01)を記入してください。なお、申請時点で建築に関する業務に従事していない場合は、記入不要です。(⑨、⑩も同様)
- ⑨ 勤務先： 現在の勤務先の会社名を記入してください。勤務先が建築士事務所の場合は、開設者名(開設者が法人の場合は代表者氏名)も記入してください。
- ⑩ 勤務先所在地： 郵便番号から記入し、所在地は都道府県から番地まで正確に、ビル名等がある場合はビル名まで記入してください。勤務先の電話番号は市外局番から記入してください。また、左の勤務先都道府県コード欄も記入してください。(「都道府県コード」を参照)
- ⑪ 申請都道府県： 申請書類を提出する都道府県名と都道府県コードを記入してください。(「都道府県コード」を参照)
- ⑫ 合格年月日： 合格年月日は、合格通知書に記載されている合格年号に○につけ、2桁の数字(例：1 → 01)で年月日を記入してください。
- ⑬ 合格番号： 合格通知書に記載されている合格年と受験番号を、以下の例を参考に記入してください。「一級建築士免許申請書」に記入している「合格番号」と相違がないようにしてください。(例)令和5年に合格。受験番号は2G-59999Kの場合。⇒052G59999K(受験番号の冒頭に合格年を示す「05」を書き足す)
- ⑭ 証明写真： 「一級建築士免許申請書」に貼り付けたものと同一の写真を貼り付けてください。申請者自身で印刷等を行う場合、コピー用紙等の写真専用紙以外を用いて印刷しているものは無効となりますのでご注意ください。
- ⑮ 姓名： 住民票上の氏名を正確に記入してください。住民票上の氏名の字体が「旧字・外字(以下、旧字等)」の場合であっても、免許証明書の字体を「新字」とすることは可です。また、免許証明書の字体を住民票上と同じ旧字等とすることを希望する場合、その字体がパソコンで表示されなければ、字体を手書きで丁寧に記入して下さい。
- ⑯ 旧姓・通称名(併記を希望する者のみ)： 免許証明書に併記を希望する場合のみ記入してください。通称名として免許証明書に併記できるのは、住民票に記載されている通称名のみです。(ペンネームは不可)
- ⑰ 連絡可能な日中のご連絡先： 日中連絡が可能な電話番号を記入してください。
- ⑱ 連絡可能なメールアドレス： 連絡が可能なメールアドレスを記入してください。
- ⑲ 外国籍： 申請者が外国籍の場合は、国名とそれに対応した国名コードを記入してください。(「国名コード」を参照)
- ⑳ 欠格事由： 該当する欠格事由がある場合は、その番号に○を付けてください。欠格事由に該当しない場合は、○を付けないでください。
- ㉑ 管理建築士講習修了履歴の一級建築士名簿への記載申出： 修了証に記載の建築士資格と修了証番号等、正確に記入してください。 ※二級・木造建築士の資格で受講した管理建築士講習の修了履歴を、一級建築士名簿へ記載を希望する方のみ記入してください。
- ㉒ 管理建築士講習受講履歴記載希望： 二級・木造建築士の資格で受講した管理建築士講習の修了履歴を、一級建築士免許証明書の裏面へ印字による記載を希望する場合、有に○、記載を希望しない場合は無に○を付けてください。